



ハテマロ会のネパール大震災支援活動

ハテマロ会
हातेमालो समाज



HATEMALO SOCIETY

「ちば市国際ふれあいフェスティバル2017」

昨年の寄附への御礼 報告書



日 時：2017年2月12日(日) 10:00~15:00
会 場：きぼーる(千葉市中央区中央4-5-1)
主 催：ちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会
出店形態：千葉ユネスコ協会青年部名義のブースをハテマロ会が利用
(千葉ユネスコ協会青年部より全面後援)

報告書作成者：シュレスタ・ラジブ

報告書作成日：2017年2月14日

「ちば市国際ふれあいフェスティバル2016」開催チーム

担当：伊藤敏明、小島佳子、Suraj Pradhan、Rajeeb Shrestha

応援：山上亜紀、高柳治信、Gautam Maharjan

指導助言：伊藤敏明先生（東京情報大学教授）、菊池貞介先生（千葉県立八千代高等学校）、
高井義信様（千葉ユネスコ協会副会長）

協力：千葉ユ協青年部スタッフ、山本三千代、Dilafroz Karimova、Sukuman T. Tamang, Amita Tamang,
Ambika Shrestha、ちりんちゃん、哲平君、Sumit 君、Arnav 君、Raika ちゃん

問合せ：〒273-0016 千葉県千葉市稲毛区天台2丁目2番-1棟-301号 TEL:090-6302-9151(ラジブ)

URL：<http://www.hatemalo.org/> Email：hatemalosociety@yahoo.co.jp

フェスティバルの概要

公益財団法人千葉市国際交流協会の事業としての一つの大イベント。外国人市民と日本人市民の交流の場を創出し、多文化理解を深めるとともに、国際交流・国際協力団体相互の連携を図り、市民に国際交流・国際協力への関心を高めてもらうことを目的としている。千葉市内の国際交流ボランティア23団体による、国際交流団体の活動紹介、海外の雑貨の販売やバザー。また、各団体のステージにて世界の民族音楽・舞踊などを披露。バザー等の売り上げの一部を集め、毎年国際交流・協力のために有効に活用してきている。昨年はハテマロ会に寄付していただきました。今年は熊本大震災復興支援を予定です。

ステージプログラム

10:00～開会式	12:30～越中おわら愛好会
10:25～ヒッポファミリークラブ	12:45～千葉インドネシアソサエティ
10:50～千葉ユネスコ協会	13:20～ラムタイ千葉
11:20～（公財）千葉市国際交流協会	13:45～ナディアベリーダンスサークル
12:10～昨年のネパール募金の御礼挨拶 （ハテマロ会が登壇）	14:20～千葉市中南米音楽愛好会
	14:45～閉会式

2017年2月12日（日）に千葉市中央区所在のきぼーるにて「ちば市国際ふれあいフェスティバル2017」が開催されました。昨年と同フェスティバルで集まった募金はネパール大震災復興支援名目でハテマロ会に贈呈されましたことに対して今回はハテマロ会として主催団体、昨年出店の団体、千葉ユネスコ協会青年部にお礼をする義務を感じ、再び出展致しました。会員の団体しか出店できないという決まりがあり、今回も昨年同様「千葉ユネスコ協会青年部」のブースを使わせていただきました。今回は特に物販をしませんでしたが、おばあさんの幸せ袋が少々残っており、その袋のみ販売させていただきました。また、震災関連の映画の制作に取り組んでおられる伊藤監督より「カトマンズの約束」の予告編を用意していただき、それをブースの前で液晶パネルに映し、公開致しました。ステージに登壇して昨年の寄付金の用途を説明してお礼を申し上げます。それだけで済まず、すべての出展団体のところに足を運んで、しっかりと去年の寄附に対するお礼を述べて参りました。昨年より多くのハテマロ会メンバーが集まり、誇りをもってお礼の挨拶をすることができました。天気にも恵まれイベントそのものも昨年より盛大だったと各方面から聞こえてきました。

以下イベントの様子です。

❁ハテマロ会のブースの様子



今回はブースにてネパールの紹介を広めるのにちびっ子たちが大活躍してくれました。おかげさまで“おばあちゃんの幸せ袋”は計45個も売れました。つまり売上は4,500円になりました。そして今回の募金は熊本大震災のために贈呈されることが決まっており、ハテマロ会のブースに千葉ユネスコ協会青年部によってそれ用の募金箱を設置してくれていました。山本親子が各ブースに回って募金集めに尽力してくださいました。

❁ステージ登壇について

ステージ登壇時間が12:10から12:25迄約15分もいただきまして、ハテマロ会の活動を詳細に説明することができました。最初にスラズ会長から一般的な挨拶をされて、皆さんにお礼を述べられました。

次はラジブがネパール大震災発生以来現在までのハテマロ会の活動について説明しました。計150万円強の義援金が集まり、その一部を使ってこれまで2015年と2016年に現地にハテマロ会スタッフが赴いて支援活動をしてきたことの詳細をお知らせしました。現地の人々は大震災から1年半も過ぎて、皆さんそれぞれ日常生活を新たにしていること、政府の支援がまだまだ進まず、お金のある人よりもお金のない人は益々困窮度を増していること、その困窮をしている方々に直接触れることのできる組織が必要と



なっていることを述べました。そういう組織の一つであるのでハテマロ会への期待も大きく、昨年いただいた寄付金は有効に使わせていただいていることをアピールしましてお礼を申し上げます。

その後伊藤監督が登壇され、今回の映画「カトマンズの約束」にネパール大震災の際に日本から国際緊急協力隊が派遣されましたことも登場する場面があるのですが、その場面の撮影に千葉県の消防署や自衛隊が多分に協力してくれましたことに感謝を申し上げます。そして来年までに千葉でも上映会を企画されており、ネパール大震災の実態を映画館で再確認いただきますようアピールされました。

最後にスラズ会長より、これからの支援方針としての学校再建支援とお寺再建支援について説明されました。小島さんと哲平君も登壇してくださいました。

謝辞

ちば市国際ふれあいフェスティバルのような国際交流団体とふれあうことができたのは千葉ユネスコ協会青年部のおかげです。そして千葉ユネスコ協会のご好意がなければハテマロ会は今回のチャリティー募金の受入先選ばれなかったと思います。このような素晴らしい機会を与えていただきまして千葉ユネスコ協会、そして千葉ユネスコ協会青年部に心より感謝致します。出展団体からの義援金をまとめていただきネパール大震災復興支援のために気持ちを寄せて頂きましたちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会に改めて御礼を申し上げます。物理的にも多くの青年部の青年が参加してくださり、お手伝いをしていただきました。顧問の菊池先生、そして東京情報大学教授伊藤先生も忙しい中ハテマロ会の応援に駆けつけてくださいました。この場を借りて改めて御礼を申し上げます。併せて、ハテマロ会をいつも応援しご参加いただいた皆様に、重ねて感謝の意を表します。そしてボランティアの皆様、その心に敬意を表します。特に山本親子におばあさんの幸せ袋販売、熊本募金活動に積極的にかかわっていただき本当にありがとうございました。素晴らしかったです。今後ともハテマロ会の活動にご理解をいただき、さらなるご協力、ご指導を賜りますようお願い致します。